

Annual Report

2005~2006



# DATA FILE

# Annual Report 2005 ~ 2006



はじめに	3
理念	4
医療機能評価	5
医療法人 真正会のあゆみ	6
真正会の組織と目標	8
入院状況 / 入院相談状況 / 入院時疾病別状況	10
入院時疾病別状況 / 入退院時のADL評価 / 日常生活自立度	11
退院状況 / 入院期間	12
退院時アンケート結果報告	13
栄養・服薬指導件数 / 事故届事例報告	14
リハビリテーション / SKIP	15
通所・訪問・居宅サービスの現況	16
各サービス拠点利用者数・各種健診・ドック事業	17
各教室実施一覧	18
施設紹介	20
Financial Summary	22
2006年度 医療法人 真正会 行事報告	23

# 老人にも明日がある

平成18年4月、診療報酬・介護報酬の同時改定があり、社会問題にまで及ぶことが危惧されています。個人的には、その方向性には賛同できても、適切な時期であるのか、改定の具体的な内容と現状とのギャップ、医療と介護の整合性等には、多くの疑問が残るものだと思っています。しかし、制度や報酬の設定によって、現在サービスを利用されている方々が不利益にならないような取り組みは、実際サービスに携わる私たちが工夫をしていかなければならないことだと考えます。当法人では、3年先までのビジョンを7月に作成し、現在提供しているサービスの充実と、新たに取り組むべきサービスの全容をスタッフ向けに発表しました。霞ヶ関中央病院を昭和47年に開設以来、設立理念である「老人にも明日がある」から「地域なくして医療は成り立たない」「医療の原点は福祉である」という基本的な姿勢を徹底し、具体的には「コミュニティケアとリハビリテーション」の充実に取り組んでいくことは今までどおり変わりませんが、一部体制を修正しながら、姉妹法人である真寿会との連携を強化し、あるべき姿を追求していきたいと考えています。

4月から外来リハビリ、訪問リハビリ、通所リハビリを一つのチームとして位置づけ、「コミュニティ・リハビリテーション・チーム(CRT)」が誕生しました。7月から霞ヶ関中央病院には、デイリビングがオープンしました。介護度の重い方々を対象にした通所リハビリテーションです。ホームヘルプステーション「コール」は訪問看護ステーション「スマイル」と二人三脚でサービス提供できるように南病院に移ってきました。外来機能を霞ヶ関南病院にまとめる構想や「在宅」を意識した施設の新設など、幾つかの大きな計画も進行中です。このような時期だからこそ、前向きな挑戦を続けていきたいと考えています。ぜひ、当法人のこれからに注目してください。

平成17年度の活動報告として、アニュアルを作成いたしました。このアニュアルは、当法人スタッフの努力の結晶と言っても過言ではありません。また、この成果を明日へつなげるためにも、1年間の活動を形に残すことが有意義だと思っています。霞ヶ関南病院が病院機能評価の認定も受け、新たなステージに向かう時期に入りました。ぜひ、アニュアルで報告させていただいた各種データをご覧いただき、多くのご指導・ご意見をいただければ幸いです。

平成18年8月  
医療法人 真正会  
理事長 齊藤正身

## 医療法人 真正会 事業理念

「老人にも明日がある」は、当法人の設立理念でもあり、この敬愛・敬老の精神をもって当法人の事業理念とする。

- 1 先駆性・開拓性**  
当法人の行う諸事業は、保健、医療、福祉の連携を根幹に据え、常に先駆的、開拓的な視点をもってこれにあたることを信条とする。
- 2 福祉性**  
当法人は「医療は福祉が原点である」を職員の心構えの基本とする。福祉とは「対象者を正しく理解し、必要かつ適切なサービスを提供すること」と定義する。
- 3 地域性**  
当法人の行う諸事業の計画、運営にあたっては、地域と離れて存在しないことを明確に堅持し、もって地域住民の医療ニーズに応えるものとする。
- 4 協調性**  
当法人は、その運営にあたり、以上の理念を支える職員の福利向上に努め、理事者と共に協調の成果を期待し、結果として所期の目的を達成したい。

## 医療法人 真正会 医療指針

- 1 保健、医療、福祉の連携**  
当法人の事業理念を基にして、高齢者の豊かな明日のために、保健、医療、福祉を包括した「真療」を目的とする。
- 2 全人的医療とチームプレー**  
対象者を身体的医療にとどまらず、全人的、総合的に把握し、そのために各専門職がチームプレーに徹し、対象者の豊かな自立支援を積極的に行う。
- 3 コミュニティケアの推進**  
良質かつ適切な医療を、地域社会に展開することを求めて、コミュニティケアの推進を図る。
- 4 終末医療のあり方**  
生あるものの死は必然であるとはいえ、最後まで人間としての尊厳性の維持に努め、「安心立命」への配慮こそ、医療法人としての責務である。

## 医療機能評価の認定取得

(電ヶ関南病院)

高齢化の進展、疾病構造の変化、医療技術の進歩により、医療に求められるものは、ますます高度化、多様化しています。このような環境下で、皆様に質の高い医療を効率的に提供するためには、医療機関自らの努力がもっとも重要であることは言うまでもありません。そして、こうした努力を単なる自己満足とせず、より効果的なものとするためには、第三者から公平かつ適正な評価を受ける必要があります。

そんな時代のニーズによって生まれたのが「医療評価認定制度」。いわゆる医療機関における医療のクオリティ、サービス体制を測る尺度とも言えるもので、第三者機関である（財）日本医療機能評価機構が審査・認定します。現在、わが国の全病院のうち、この認定を受けている医療機関は20%に過ぎません。

私たちは、この医療機能評価を受けることが、当法人を利用される皆様により質の高い医療とサービスをご提供するための、良い布石になると考えました。

そして、1年以上の改善・準備期間を経て、2005年11月、電ヶ関南病院が医療機能評価の認定を受けるに至りました。

今後も認定に相応しい医療機関であり続けるため、さらなる努力を重ねていく所存です。そして、地域住民の皆様へのニーズを的確に捉え、安心・安全なサービスができるよう努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。



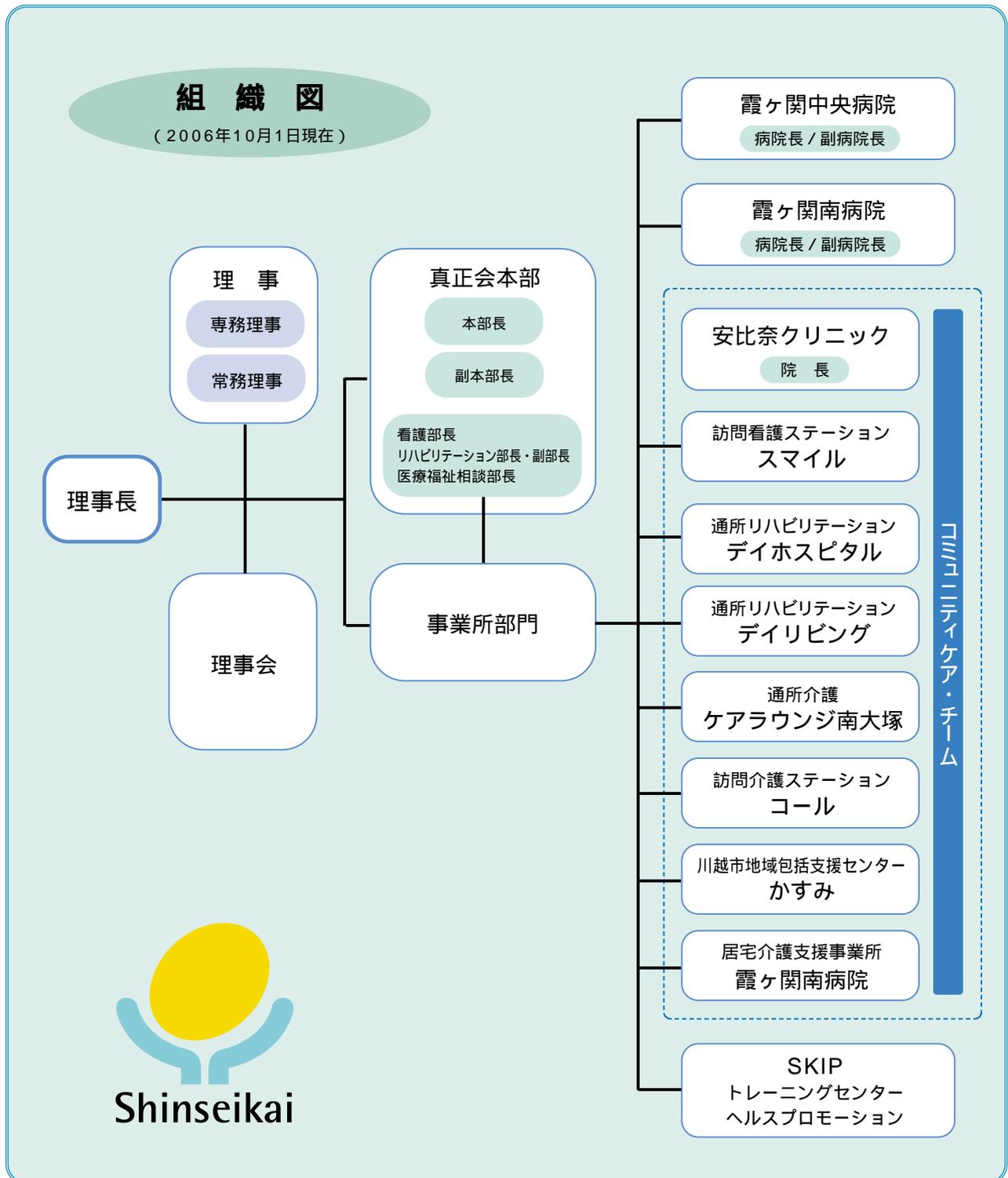
# 過去から、明日へ

1972年 (昭和47年)	霞ヶ関中央病院開設(48床)
1975年 (昭和50年)	医療法人認可
1976年 (昭和51年)	病院ボランティア導入
1977年 (昭和52年)	特別養護老人ホーム真寿園設立
1977年 (昭和52年)	特別養護老人ホーム真寿園の協力医療機関となる
1978年 (昭和53年)	98床に増床
1980年 (昭和55年)	108床に増床
1980年 (昭和55年)	デイホスピタル設置
1982年 (昭和57年)	120床に増床
1982年 (昭和57年)	川鶴診療所開設
1984年 (昭和59年)	200床に増床
1985年 (昭和60年)	会員組織「かすみ会」設置(保健・予防)
1987年 (昭和62年)	霞ヶ関南病院開設(100床)
1988年 (昭和63年)	デイホスピタル、南病院に移設
1988年 (昭和63年)	リハビリテーション部門承認(理学・作業療法)
1990年 (平成2年)	霞ヶ関南病院、在宅医療開始
1991年 (平成3年)	特養キングスガーデンの協力医療機関となる
1994年 (平成6年)	訪問看護ステーション「やさしい手」開設
1998年 (平成10年)	訪問看護ステーション「スマイル」開設
1998年 (平成10年)	霞ヶ関南病院、療養型病床(127床)認可
1998年 (平成10年)	霞ヶ関南病院・総合リハビリテーション施設認可
1998年 (平成10年)	霞ヶ関中央病院、一般病棟新看護2.5対1の届出
1999年 (平成11年)	霞ヶ関南病院・在宅介護支援センター「かすみ」開設
1999年 (平成11年)	霞ヶ関中央病院、霞ヶ関南病院、訪問看護ステーションやさしい手・スマイル、川越市在宅介護支援センターかすみ、介護保険法による居宅介護支援事業者に指定
1999年 (平成11年)	霞ヶ関南病院デイホスピタルが介護保険法による通所リハビリテーションに指定
1999年 (平成11年)	霞ヶ関中央病院の外來機能を拡張、強化(一般36床、療養型50床)
1999年 (平成11年)	霞ヶ関南病院(療養型199床)
2000年 (平成12年)	ホームヘルパーステーションコール開設、介護保険法による訪問介護事業者に指定
2000年 (平成12年)	霞ヶ関中央病院、介護療養型医療施設50床、短期入所療養介護施設に指定、霞ヶ関中央病院、川鶴診療所が訪問介護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導に指定
2000年 (平成12年)	ホームヘルパー養成研修開始
2000年 (平成12年)	霞ヶ関中央病院、一般病棟新看護2対1の届出

2000年 (平成12年5月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟 やまぶき・42床 承認
2000年 (平成12年7月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟 さくら・42床 承認、計84床
2001年 (平成13年5月)	霞ヶ関中央病院、理学療法 ( )届出
2001年 (平成13年6月)	川越市在宅高齢者配食サービス開始
2001年 (平成13年7月)	霞ヶ関中央病院、リウマチ科開始
2001年 (平成13年11月)	霞ヶ関中央病院、外来診療科に「アレルギー科」を開始、「小児科」を廃止
2001年 (平成13年10月)	一般病棟36床を霞ヶ関南病院に移設 ふじ・41床)
2001年 (平成13年10月)	霞ヶ関中央病院、一般病棟36床を介護療養型病床へ 計86床
2001年 (平成13年10月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟 すみれ・37床 承認、計121床
2001年 (平成13年10月)	医療法による病床種別届出実施
2001年 (平成13年11月)	救急医療機関指定を辞退
2002年 (平成14年2月)	痴呆介護実務者研修実施
2002年 (平成14年3月)	霞ヶ関南病院、一般病棟 ふじ・41床)入院基本料辞退、療養病棟へ
2002年 (平成14年3月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟 けやき・37床 承認、計158床
2002年 (平成14年4月)	地域リハビリテーション広域支援センターの中核医療機関となる
2002年 (平成14年4月)	霞ヶ関南病院、言語聴覚療法 ( )届出
2002年 (平成14年5月)	霞ヶ関中央病院、言語聴覚療法 ( )届出
2002年 (平成14年6月)	SKIPトレーニングセンター竣工
2002年 (平成14年10月)	霞ヶ関南病院 (ふじ・41床) 特殊疾患入院施設管理加算 届出
2003年 (平成15年4月)	霞ヶ関中央病院 作業療法 ( ) 言語聴覚療法 ( ) 届出
2003年 (平成15年4月)	霞ヶ関南病院デイホスピタル、個別リハビリテーション提供体制 届出
2003年 (平成15年5月)	安比奈クリニック開設
2004年 (平成16年5月)	霞ヶ関中央病院 介護療養型病床辞退、療養病棟入院基本料 <sup>1</sup> 届出 医療療養病床へ 計86床
2004年 (平成16年5月)	霞ヶ関中央病院 特殊疾患入院施設管理加算 届出 計86床
2004年 (平成16年7月)	ケアラウンジ南大塚開設
2005年 (平成17年10月)	霞ヶ関南病院 MRI 磁気共鳴装置 ( AIRIS confort ) 設置
2005年 (平成17年10月)	霞ヶ関南病院 アネックス増築
2005年 (平成17年11月)	霞ヶ関南病院 財団法人日本医療評価機構 認定
2006年 (平成18年4月)	霞ヶ関中央病院 脳血管疾患リハビリテーション料( ) 運動器リハビリテーション( ) 届出 霞ヶ関南病院 脳血管疾患リハビリテーション料( ) 運動器リハビリテーション( ) 届出 安比奈クリニック 在宅療養支援診療所 在宅時医学総合管理料 在宅末期医療総合診療料 届出
2006年 (平成18年4月)	川越市地域包括支援センター「かずみ」開設
2006年 (平成18年7月)	霞ヶ関中央病院デイリビング (通所リハビリテーション) 開設
2006年 (平成18年7月)	霞ヶ関中央病院86床より77床へ

# しあわせを実現する機能、組織、そしてスピリット

設立理念である「老人にも明日がある」を踏まえ、真正会が目指すものは、利用者、地域の方、そしてスタッフ、すべての人の「しあわせ」です。





its

設立理念である「老人にも明日がある」を踏まえ、真正会が目指すものは、利用者、地域住民、そしてスタッフ、すべての人の「しあわせ」です



### サービスの3本柱

私たちは利用者様がフラストレーションのない生活を送れるようにチームで取り組みます。

- 利用者に必要かつ適正なサービスを提供し、決して無益な医療・ケアは行わない
- どんなときも自己決定ができるような選択肢を提示する
- リハビリテーションの理念に基づき、活動的な生活を創造する
- 利用者・家族の思いを受け止め、柔軟に対応する
- 利用者が納得できる生活（食事・環境・清潔・整容など）を援助する

私たちは常に地域の一員であることを忘れず、そのニーズに積極的に応えていきます。

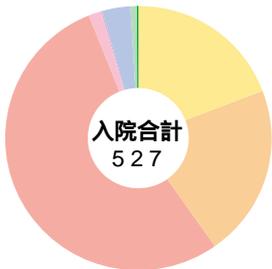
- 地域のために施設の機能を提供する
- 地域の保健活動に積極的に取り組む
- ボランティア活動を理解し協力を惜しまない
- 地域住民とのふれあいを大切にする
- サービスに関する情報を公開する

私たちは常に自分の職場に誇りや愛着を持って使命を果たします。

- スタッフの心得（介護の心得）を常に理解し念頭におく
- どんな用件、苦情でも自分のものとして受け止め解決する
- 他部署への協力を惜しまない
- チームの業務改善に積極的に取り組む
- スタッフは必要な情報を共有する
- 快適な職場環境をつくる
- お互いに認め合い、感謝の気持ちを表現する
- リーダーは自己の行動をもってスタンダードを示す

入院状況 (2005年度)

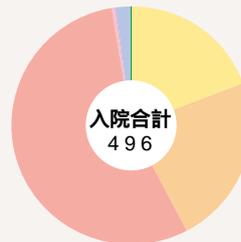
霞ヶ関南病院 (単位・件)



自宅入院	101
他院(大学)転入	111
他院(一般)転入	283
他院(療養)転入	8
中央病院から転入	1
特別養護老人ホーム	18
老人保健施設	4
その他	1

2004年度

(単位・件)



自宅入院	95
他院(大学)転入	114
他院(一般)転入	272
他院(療養)転入	2
中央病院から転入	1
特別養護老人ホーム	10
老人保健施設	0

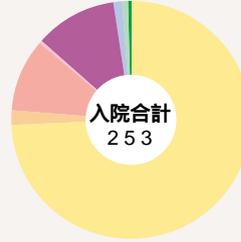
霞ヶ関中央病院 (単位・件)



自宅入院	135
他院(大学)転入	6
他院(一般)転入	31
他院(療養)転入	1
南病院から転入	24
特別養護老人ホーム	3
老人保健施設	1
その他	1

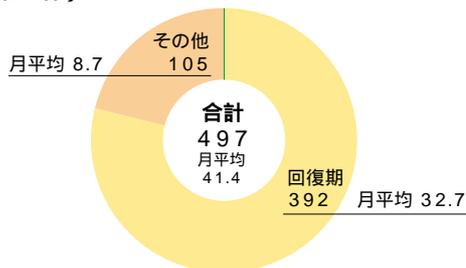
2004年度

(単位・件)



自宅入院	188
ショートステイ	5
他院(大学)転入	25
他院(一般)転入	1
他院(療養)転入	28
南病院から転入	3
老人保健施設	2
その他	1

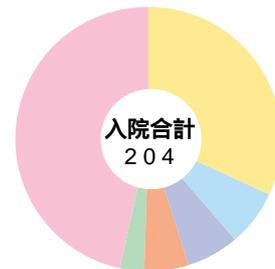
入院相談状況 (霞ヶ関南病院: 2005年度)  
(単位・件)



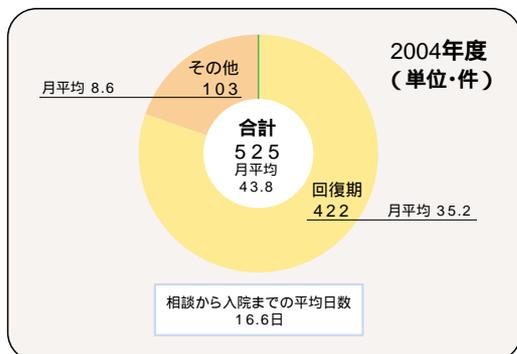
相談から入院までの平均日数  
18.7日

入院時疾病別状況 (2005年度)

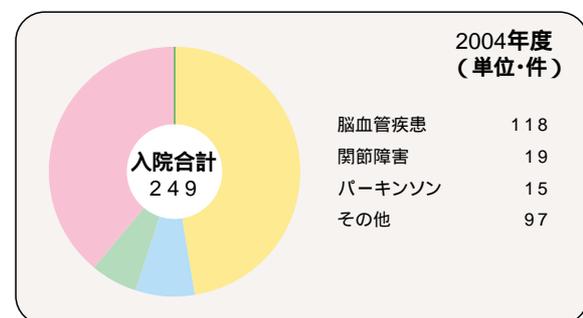
霞ヶ関中央病院 (単位・件)



脳血管疾患	65
関節障害	14
筋障害	13
糖尿病	11
パーキンソン	6
その他	95



相談から入院までの平均日数  
16.6日



2004年度  
(単位・件)

脳血管疾患	118
関節障害	19
パーキンソン	15
その他	97

回復期とは？

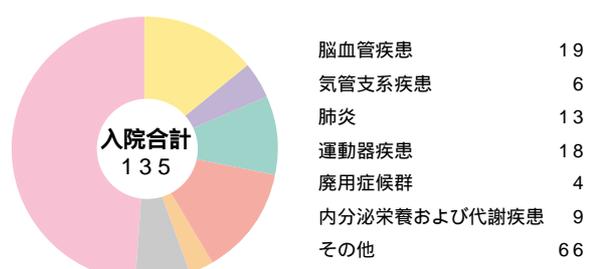
主に脳血管障害や骨折などの病気で、病状が落ち着きはじめる必要がなくなった状態で、発症から1~2ヵ月経過し、およそ半年の期間を指します。この時期では集中的なリハビリテーション訓練がとて効果的と言われています。

霞ヶ関南病院

回復期リハビリテーション対象患者 (単位:件)



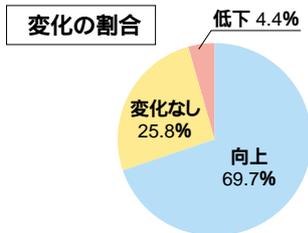
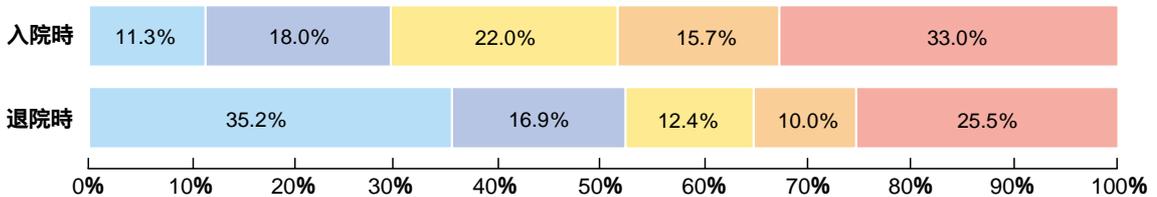
回復期リハビリテーション対象外患者 (単位:件)



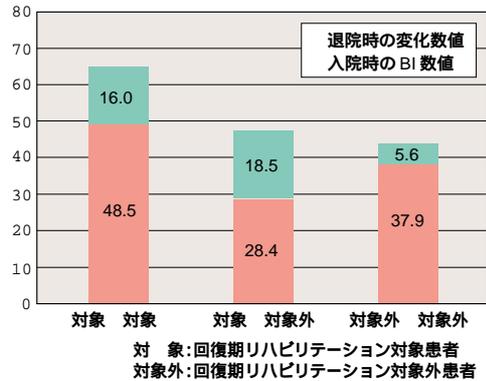
入退院時のADL評価 (BI: パーセルインデックス・2005年度)

評価対象: 霞ヶ関南病院 退院患者522名

BI数値: 81~100 (light blue), 61~80 (medium blue), 41~60 (yellow), 21~40 (orange), ~20 (red)



入院時と退院時のBI 平均値 (BIがどれだけ上がったか)

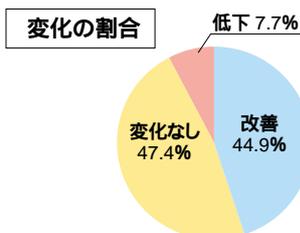
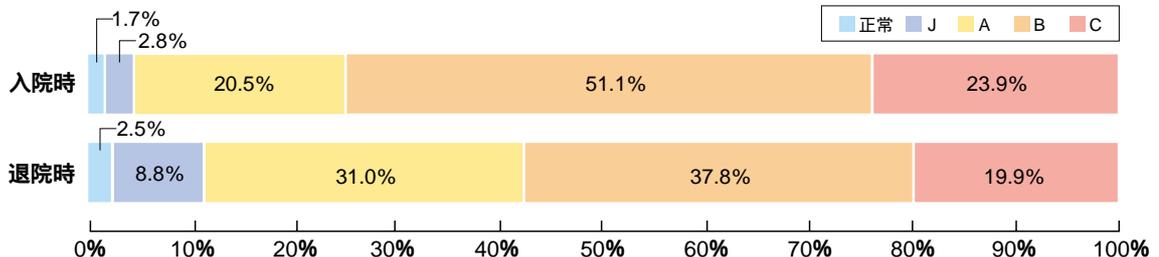


パーセルインデックス

ADLの評価に使用される尺度。食事、車椅子とベッド間の移動、トイレ、洗面、入浴、歩行、階段の昇降、着替え、排便、排尿等がどの程度できるか、日常生活を10項目に分けてチェック。合計した数値(100点満点)をその人の日常生活度として評価する。

障害老人の日常生活自立度 (2005年度)

評価対象: 霞ヶ関南病院 退院患者532名

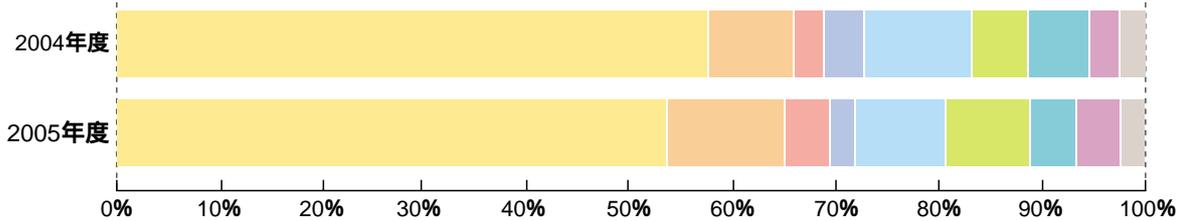


障害老人の日常生活自立度判断基準

ランク	判断基準
J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する
A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない
B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ
C	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する

退院状況 自宅退院率は自宅のみを対象としています。

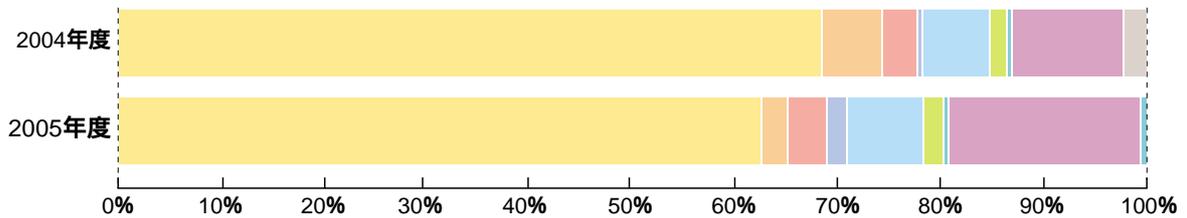
霞ヶ関南病院・退院状況



回復期病棟（4病棟）		平均（日）
平均在院日数		119.1
平均入院		82.8
6ヵ月超入院患者数		13.4
自宅退院率		67.6%
療養病棟（1病棟）		平均（日）
平均在院日数		274.4
平均入院		563.6
6ヵ月超入院患者数		27
自宅退院率		36.7%

転帰先	2005年度	2004年度
自宅	285	280
老人保健施設	61	42
特別養護老人ホーム	24	14
他院(大学)転出	13	19
他院(一般)転出	47	51
他院(療養)転出	44	27
中央病院へ転出	24	29
死亡	23	13
その他	12	12
合計	533	487

霞ヶ関中央病院・退院状況

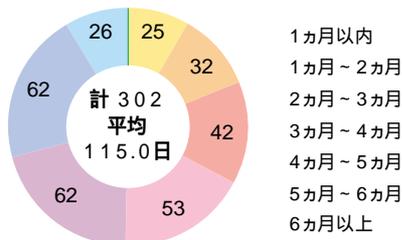


中央病院こすもす		平均（日）
平均在院日数		185.3
平均入院		451
6ヵ月超入院患者数		27.3
自宅退院率		56.6%
中央病院ひまわり		平均（日）
平均在院日数		112.1
平均入院		453.2
6ヵ月超入院患者数		19.8
自宅退院率		59.8%

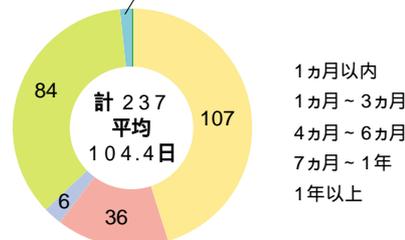
転帰先	2005年度	2004年度
自宅	128	175
老人保健施設	5	15
特別養護老人ホーム	8	9
他院(大学)転出	4	1
他院(一般)転出	15	17
他院(療養)転出	4	4
南病院へ転出	1	1
死亡	38	28
その他	1	6
合計	204	256

入院期間（2005年度）

回復期リハビリ対象患者・南病院  
（単位・件）



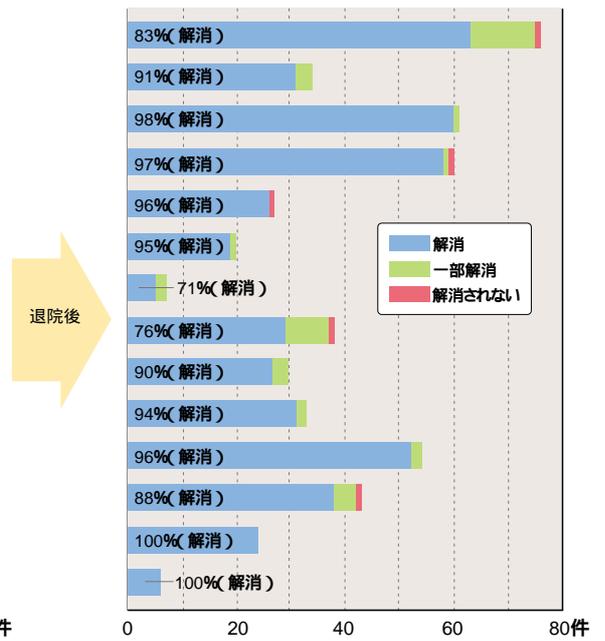
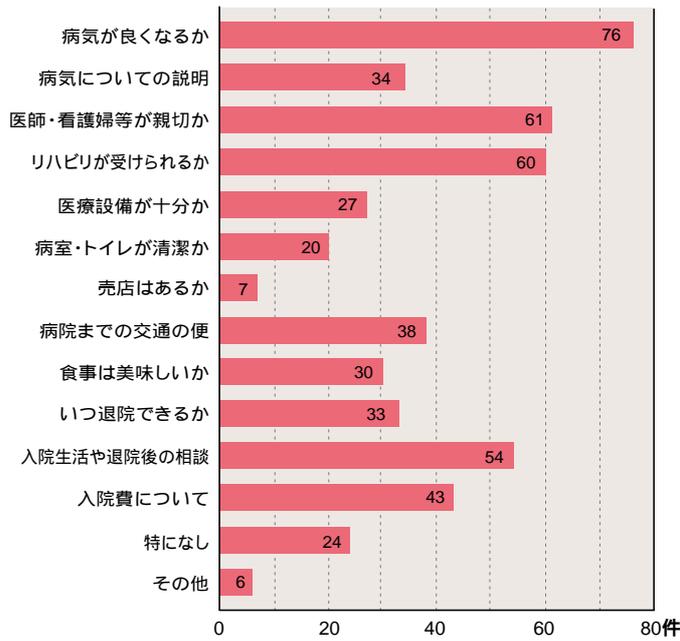
回復期リハビリ対象外患者・南病院  
（単位・件）



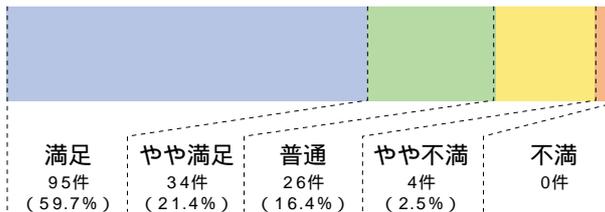
医療療養患者・中央病院  
（単位・件）



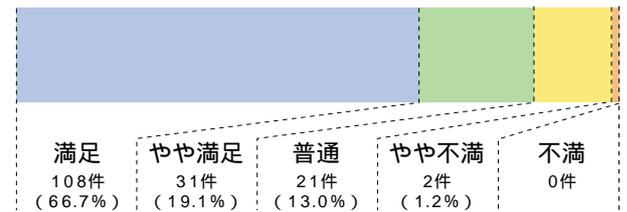
入院にあたっての不安と退院時の解消度



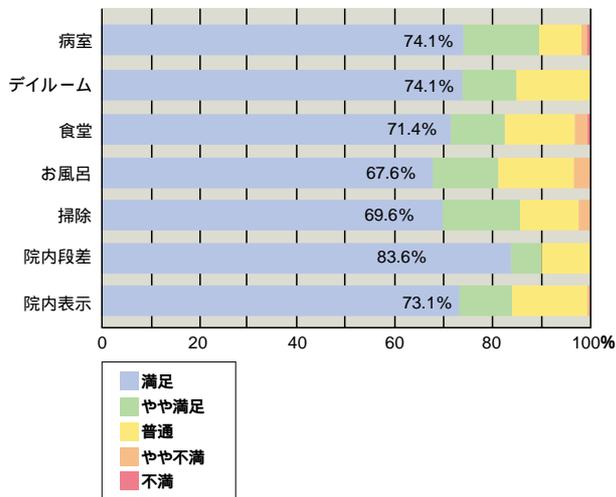
食事に対する満足度



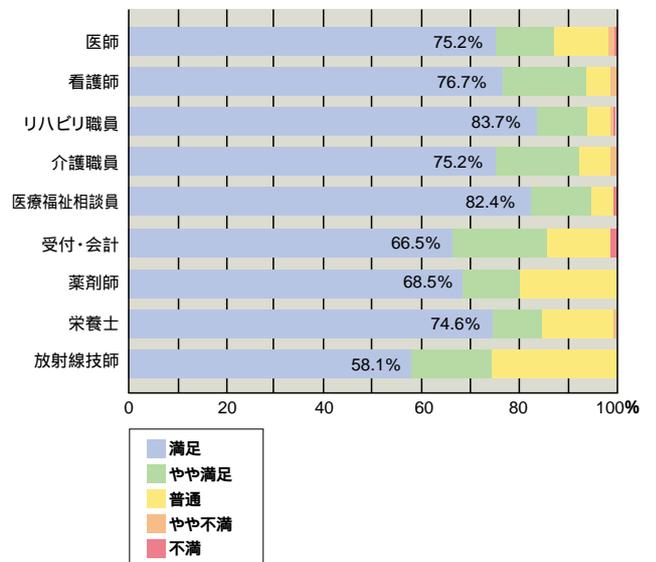
病院や入退院の説明に対する満足度



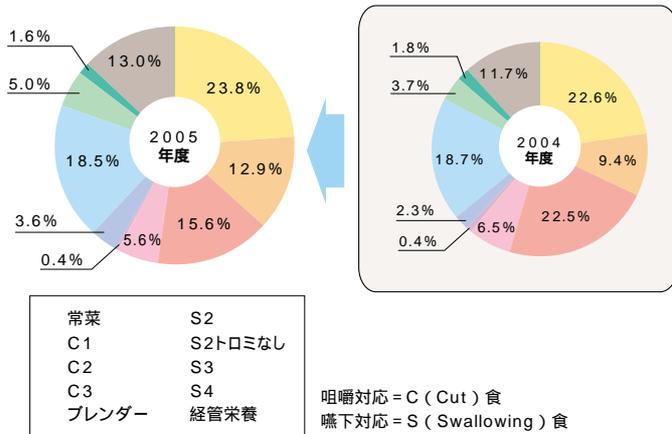
院内環境について



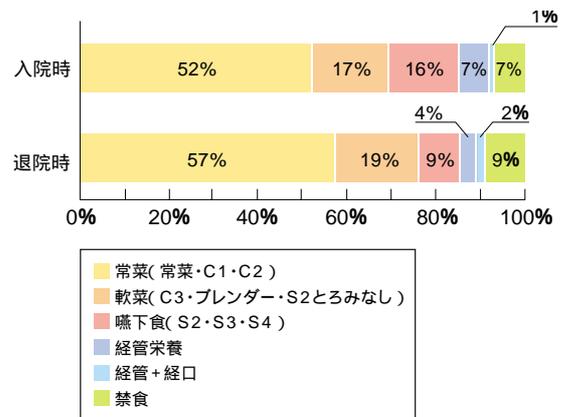
職員の対応について



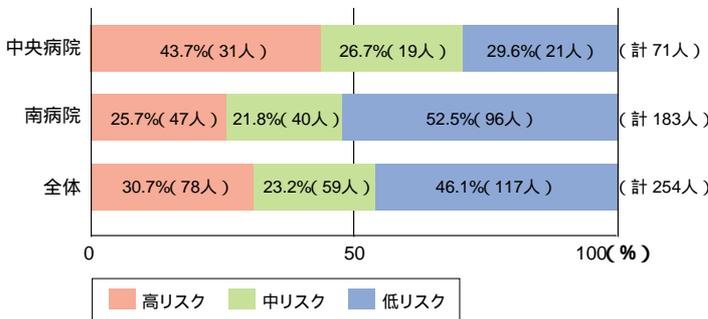
食事形態と比率



入退院時食事形態比較



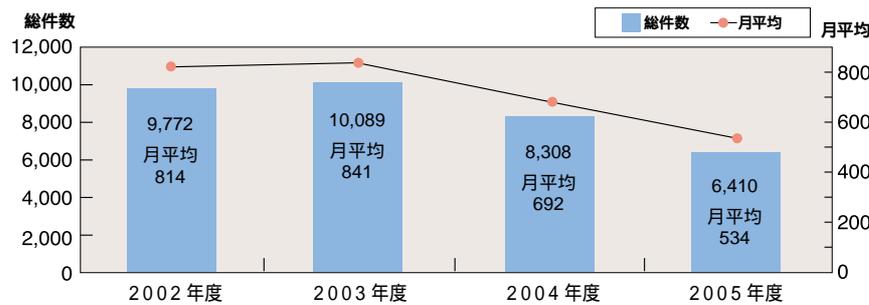
栄養ケア・マネジメント (低栄養リスク別)



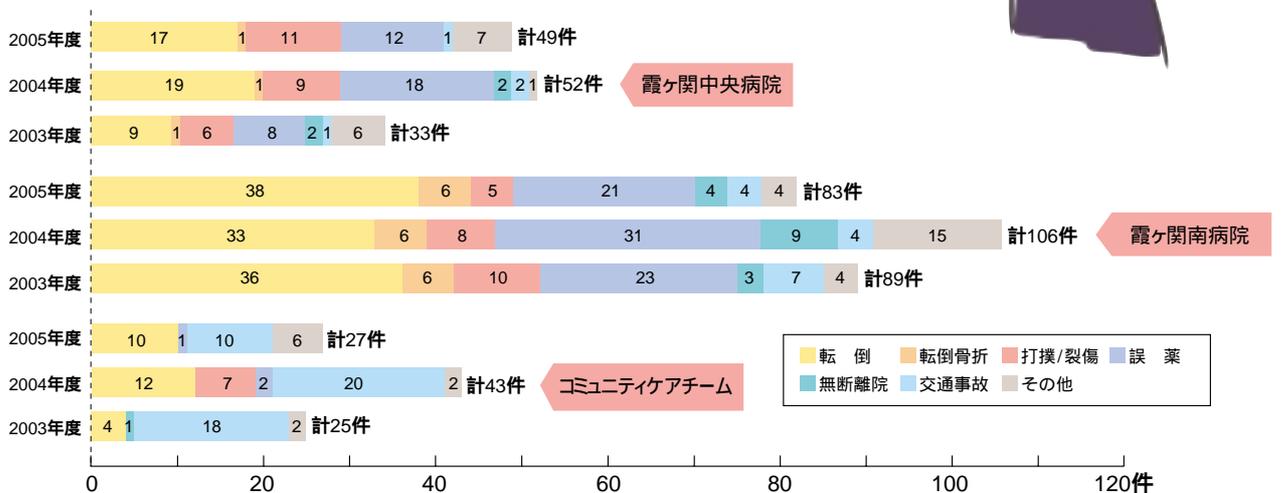
食事形態の目安 (参考)

- ・常食  
咀嚼能力・嚥下能力に問題のない方。家庭で食べる大きさ。
- ・C1・S1  
C1は咀嚼レベル1、S1は嚥下レベル1の方に対応。常菜を補助的にカット。
- ・C2・S2  
C2は咀嚼レベル2、S2は嚥下レベル2の方に対応。1～1.5cm程度につぶしたり、細かく刻んだ軽菜食。
- ・C3・S3  
C3は咀嚼レベル3、S3は嚥下レベル3の方に対応。0.2～0.3cm程度に刻んだ軽菜食。
- ・ブレンダー・S4  
ブレンダーは内科系疾患の方に対応した濃厚流動食、S4は嚥下レベル4の方に対応。つぶした軟菜食をさらにミキサーにかける。
- ・流動・S5  
流動は内科系疾患の方に対応した単純流動食。S5は食事訓練をする方に対応。流動、ゼリー食。

服薬指導件数の推移



事故届事例分類 (過去3年間の比較)



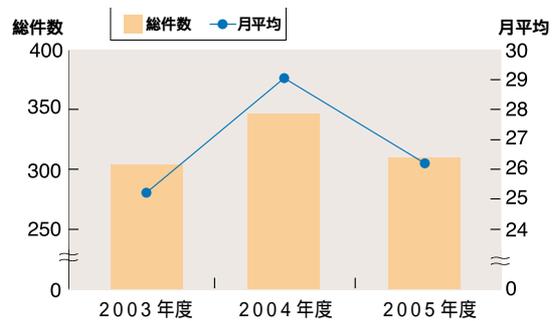
リハビリテーションサービスの種類

名称	概要・実施機関	実施場所・内容	保険区分	スタッフ体制・コンセプト等
入院リハ	入院によるリハビリテーション ・霞ヶ関中央病院(脳血管・運動器) ・霞ヶ関南病院(脳血管・運動器) ・総合リハ承認施設)	リハビリテーション室や病棟、マルチルーム等、病院内・外で実施  最大限の身体機能改善 / 生活機能の改善・実用化 体力と活動性の向上 / 活動と参加の促進 / 自己管理の確立 在宅生活や他サービスへの橋渡し	医療保険	・霞ヶ関中央病院 PT6、OT5、ST3 ・霞ヶ関南病院 PT26、OT21、ST12、RW5
在宅リハ Community Rehabilitation Team	外来通院によるリハビリテーション ・霞ヶ関南病院内		医療保険	PT9、OT7、ST5
	通所リハビリテーション [デイホスピタル]・霞ヶ関南病院内 要支援～要介護3までを対象	[デイホスピタル] デイホスピタルルームを拠点とし、リハビリテーションセンター、マルチルーム等、病院内・外で実施。自己管理や生活活動の拡大を目指し、個々のニーズに対応したプログラムを提供。  [デイリビング] デイリビングルーム、リハビリテーション室で実施。重度の障害をお持ちの方に、座位での様々な活動を提供し、生活機能の向上や生活活動の拡大を目指す。	介護保険	一元化されたリハビリテーションサービスとして、共通のリハビリテーションマネジメントに基づき、短期集中リハの活用、柔軟なサービスの組み合わせを行い、在宅生活をサポート。  かかりつけ医、看護、介護、ケアマネジャーなど様々な在宅サービスの関係者と協力してサービス提供を行う。
	訪問 自宅訪問によるリハビリテーション ・霞ヶ関南病院	外出が困難な方やご自宅での生活上何らかの支障のある方に対し、実生活の場でのリハビリテーションを提供	医療保険 介護保険	
	委託事業 川越市から委託された事業 ・川越市在宅者機能訓練事業 ・川越市通所型介護予防事業	霞ヶ関南病院内 リハビリテーション室を中心に実施。 自宅から通い、機能訓練や介護予防のサービスを受ける。	地域支援事業	
予防リハ	SKIPトレーニングセンター 健康増進と介護予防のサービスを提供 ・霞ヶ関南病院内	SKIPトレーニングセンター(医療法42条疾病予防施設)において、予防をキーワードにしたサービスをリハビリテーションの一環として提供 生活習慣病(メタボリックシンドローム)改善と予防 / 虚弱者の介護予防 卒業後リハビリテーション / 運動をキーワードにした様々な生活改善	自費	PT1、HFP4  からだづくり、出かける場づくり、仲間づくりがコンセプト

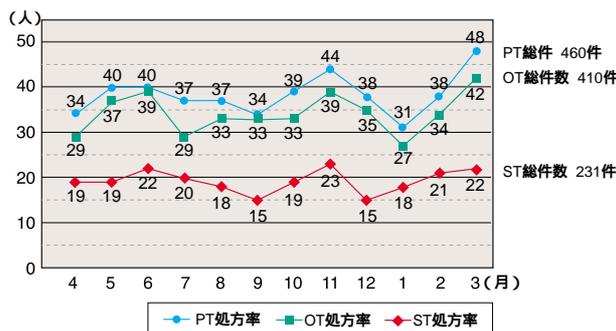
リハビリテーション部門で働く5職種

名称	主な業務内容
PT (Physical Therapist) 理学療法士	起居・移動動作・基礎体力の評価と治療 テクニカルエイドのアドバイス
OT (Occupational Therapist) 作業療法士	日常生活行為の評価と治療 その人らしい生活内容の再建 テクニカルエイドのアドバイス
ST (Speech Therapist) 言語聴覚士	コミュニケーション能力障害の評価と治療 摂食嚥下機能障害の評価と治療
RW (Recreation Worker) レクリエーションワーカー	アクティビティを通じた生活の活性化
HFP (Health Fitness Programmer) 健康運動指導士	体力測定に基づく、運動メニューの提供 生活スタイルの提案

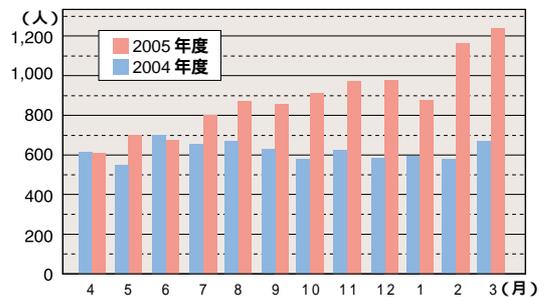
家庭訪問実施数の推移



リハビリ処方の推移

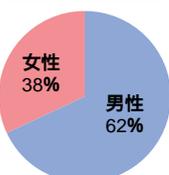


SKIPの延べ利用者数推移

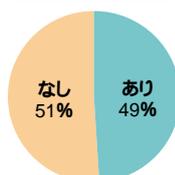


SKIP利用者概要

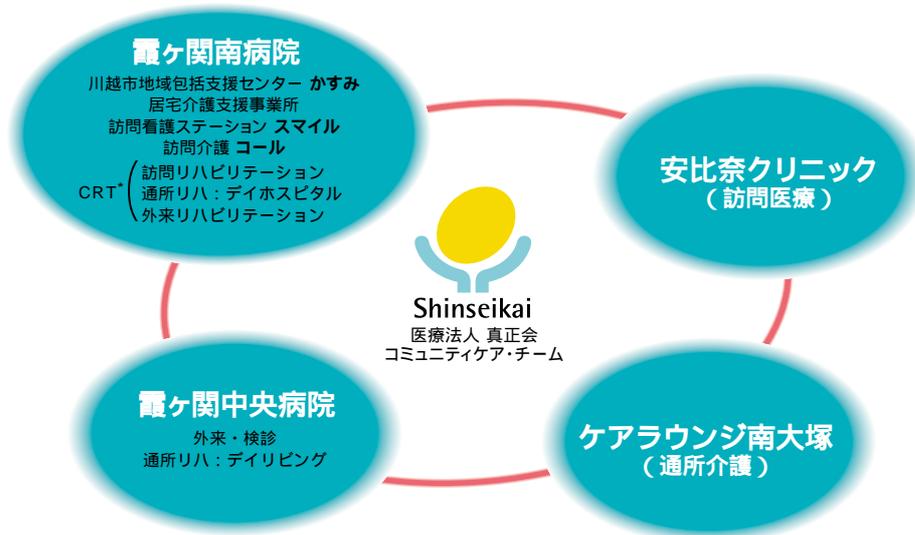
利用者男女比



障害の有無



各サービス拠点の概要 (2006年7月現在)

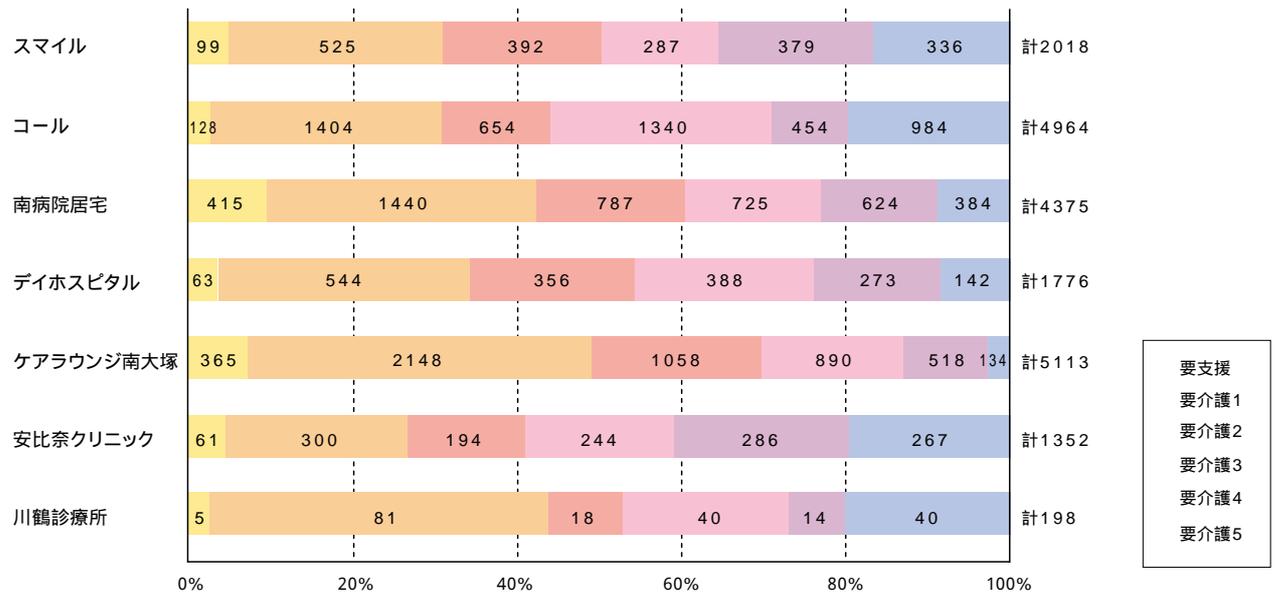


\*CRTとは?  
 コミュニティ・リハビリテーション・チーム (Community Rehabilitation Team) の略称。  
 当法人の在宅サービス部門において、各種リハビリテーション (外来リハ・通所リハ・訪問リハ) の提供を担当しています。

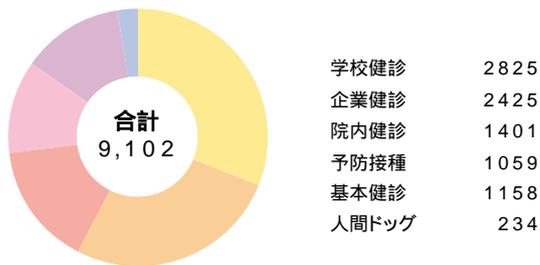
事業所 (部署名)	サービス種別	利用者数	スタッフ数	事業内容
訪問看護ステーション スマイル	訪問看護 (介護保険・医療保険)	153名 36名	看護師10名・(非)15名 クラーク1名	訪問看護: 病状観察や処置、ターミナルなど医療依存度の高いニーズに対応し医療機器の管理・指導・介護相談・保清ケアなどを提供する。
ケアラウンジ南大塚	通所介護 (介護保険)	101名	看護師1名・(非)2名 介護員3名・(非)4名 / 生活指導員 1名 クラーク(兼)1名	入浴、食事、送迎の基本サービスと個別・グループでのアクティビティ、機能訓練、日常生活上の必要な介護を提供する。その他に健康状態確認、介護方法の指導、生活等の相談援助、介護予防を行う。
ホームヘルパーステーション コール	訪問介護 (介護保険)	53名	介護福祉士4名・(登録)3名 ヘルパー1級(登録)1名・2級1名・ 2級(登録)1名 / クラーク(兼)1名	心身の状態、家庭環境を踏まえ、身体介護(身体に直接触れて行う介護) / 生活援助(継続して生活が営めるために必要な家事援助)を提供する。
C R T	デイホスピタル	159名	医師(兼)8名 / 看護師5名 介護福祉士9名 / ケアワーカー1名 理学療法士9名 / 作業療法士10名 言語聴覚士6名 / 相談員2名 クラーク2名 / 管理栄養士(兼)2名 歯科衛生士(兼)2名 / 運転手(兼)14名	維持期のリハビリとアクティビティおよび退院後の短期的な集中したリハビリを提供している。病院併設の特徴を生かし、多職種による評価とチームアプローチ、体調管理も行っている。DLでは入浴サービスを、DHでは要支援の方に介護予防プログラムを実施している。
	デイリビング	41名		専門職がご自宅に訪問し、各種評価、ADL・APDLのトレーニング、摂食嚥下障害のフォロー、自己管理方法や介護方法のアドバイスなどを実生活の場で行う。対象は外出が困難な方やご自宅での生活上何らかの支障のある方すべて。
	霞ヶ関南病院 訪問リハビリテーション事業所	113名		通院可能な方に機能訓練を中心としたサービスを提供する。対象はまだ回復段階にある方・維持期でも具体的な改善目標がある方・特定疾患や若年層(小児含)など長期的な機能訓練が必要な方・コミュニケーション障害のある方等。
	霞ヶ関南病院 外来リハビリテーション事業所	68名		
居宅介護支援事業所 霞ヶ関南病院	居宅介護支援事業 (介護保険)	届出 384件 給付管理 337件	介護支援専門員9名 事務員1名	ケアプランの作成及び相談やサービス事業所との連絡調整、要介護認定の申請代行、市町村からの委託による認定調査などを行う。
川越市地域包括支援センター かすみ	川越市委託事業 担当地区: 霞ヶ関 : 大原	届出 90件 給付管理 65件	看護師1名 / 社会福祉士1名 主任介護支援専門員1名 事務員(兼)1名	ケアプランの作成及び相談やサービス事業所との連絡調整、要介護認定の申請代行、市町村からの委託による認定調査などを行う。予防の拠点としての機能を求められている。
在宅療養支援診療所 安比奈クリニック	訪問診療 (医療保険・介護保険)	132名	医師(兼)13名 看護師2名 / 事務員1名	通院困難な患者様への定期的訪問診療、病状変化時の住診など医学的管理を行う。「在宅療養支援診療所」として24時間対応を行っている。

利用者数・スタッフ数は2006年8月末現在

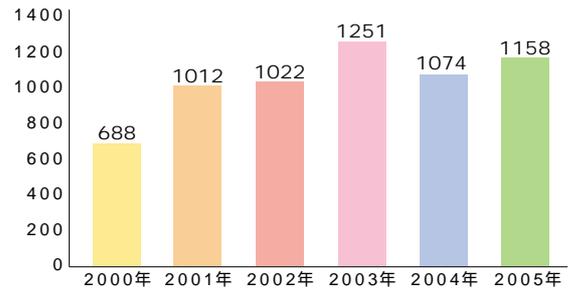
コミュニティケア・チーム要介護度別利用者数（2005年度）



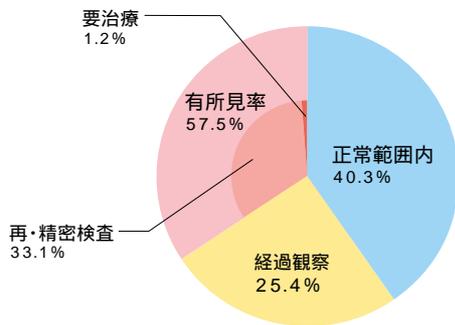
健診実施状況（2005年度）



川越市基本健康診査利用者数の推移  
（2005年度・霞ヶ関中央・南病院）



健診・ドック利用者判定（2005年度）



有所見率が昨年の57.5%から34.3%と減少していますが、経過観察が11.2% 25.4%と上昇しています。内訳は多い順に、総コレステロール、中性脂肪、-GTP（肝機能） 他となっています。やはり、生活習慣に関連する項目が多い傾向にあります。SKIPヘルスプロモーションチームではこのような方々を対象に、「生活習慣病改善プログラム」を実施し、その方の症状にあった食事生活アドバイス、運動に関するアドバイス、をご提案しています。

各種予防教室等の年間事業  
(2005年度)

転倒骨折予防教室

計24回開催

場所	開催日	内容(担当)	参加数
真寿園	4/27	講義・体力測定(医師・理学療法士)	22名
"	5/11	上肢の運動(SKIP)	14
霞ヶ関南病院	5/22	調理実習(管理栄養士)	19
真寿園	6/1	下肢の運動(SKIP)	22
"	6/15	住環境の見直し(OT)	14
"	6/29	体幹の運動(SKIP)	21
"	7/13	フットケア(看護師)	13
"	7/27	最終体力測定(SKIP)	11
大東南公民館	8/10	講義・体力測定(医師・理学療法士)	15
"	8/24	上肢の運動(SKIP)	10
"	9/8	栄養士による講義と運動(管理栄養士・SKIP)	8
"	9/22	調理実習と運動(管理栄養士・SKIP)	9
"	10/5	フットケア(看護師)	11
"	10/19	下肢の運動(SKIP)	10
"	11/2	住環境の見直しと運動(OT・SKIP)	7
"	11/16	最終体力測定	6
霞ヶ関公民館	12/7	講義・体力測定(医師)	15
"	12/21	上肢の運動(SKIP)	15
"	1/11	フットケア(看護師)	9
"	1/25	音楽に合わせた運動(SKIP)	8
"	2/8	調理実習(管理栄養士)	7
"	2/22	住環境の見直し(OT)	8
"	3/8	下肢の運動(SKIP)	7
"	3/22	最終体力測定(SKIP)	6

気道感染予防教室

計10回開催

場所	開催日	内容	参加数
大東南公民館	10/15	医師による講義	11名
"	11/24	管理栄養士による調理実習	10
"	12/17	理学療法士による呼吸器リハビリ	5
"	2/4	言語聴覚士による嚥下についての講義	5
"	2/16	歯科衛生士による口腔ケア	3
霞ヶ関公民館	10/15	医師による講義	16
"	11/25	管理栄養士による調理実習	16
"	12/17	理学療法士による呼吸器リハビリ	11
"	2/18	歯科衛生士による口腔ケア	7
"	3/11	言語聴覚士による嚥下についての講義	7

陶芸に親しむ...真寿寮を利用して趣味を広げる活動

計8回開催

場所	開催日	内容	参加数
真寿園	2/4	小皿を作成	2名
"	2/16	小皿に絵を描く	2
"	8/20	作った器に乗せる茶菓子を作る	2
"	10/22	好きな器を作成	3
"	11/5	器の色づけ	4
"	12/10	作った器で食事を楽しむ	2
"	1/14	ろくろを使って作成	2
"	2/4	器の色づけ	2

失禁予防教室

計5回開催

場所	開催日	内容(担当)	参加数
真寿園	8/3	失禁の対応(看護・介護)	13名
"	9/14	骨盤底筋を鍛える(SKIP)	10
大東南公民館	12/14	失禁の対応(看護・介護)	5
"	1/18	骨盤底筋を鍛える(SKIP)	10
霞ヶ関公民館	8/12	霞ヶ関地区在住女性ループ「あすかの会」を対象に失禁予防	23

認知症個別相談会

計1回開催

場所	開催日	内容	参加数
大東南公民館	10/1	認知症個別相談会	1名

地域支援会議等

実施日	内容(実施場所・実施形態等)
4/23	出張相談会(川鶴ふれあい祭り)
5/13	介護予防説明(霞ヶ関 あすかの会)
5/16	民生委員協議会出席(霞ヶ関地区)
6/23	食の自立カンファレンス(事例提出)
7/15	民生委員協議会出席(大東地区)
9/26	ケースカンファレンス(霞ヶ関中央病院)
10/4	ケースカンファレンス(自宅)
10/7	ケースカンファレンス(大東公民館)
11/14	ケースカンファレンス(霞ヶ関中央病院)
11/21	的場下地区高齢者福祉問題
1/30	ケースカンファレンス(自宅)
2/14	ケースカンファレンス(遊・川越)
3/15	ケースカンファレンス(霞ヶ関中央病院)
3/17	閉じこもり予防教室が終了して(真寿寮)
3/30	ケースカンファレンス(在宅介護支援センター)



## 各教室実施一覧(2005年度)

実施教室数：100教室 参加者総数：790名

開催日	開催教室名	内容(テーマ)	参加数	場所	開催日	開催教室名	内容(テーマ)	参加数	場所
4/14	糖尿病教室	「ウォーキング」	8	中央	11/9	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」初心者コース	5	南
4/15	フラダンス教室	「かけ声はブアマナからハイナまで」	6	南	11/12	フラダンス教室	「ひと足早くホワイトクリスマスを踊りましょう」	8	南
4/20	パソコン教室	「初心者の為のパソコン講座。レベル1」	4	南	11/16	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」超初心者コース	4	南
4/21	医療保障制度教室	「得解く！入院中の医療保障」	5	南	11/16	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」初心者コース	5	南
4/26	フラダンス教室	「夏の思い出の復習」	4	南	11/21	移乗伝達方法教室	「車椅子に乗って一緒に散歩にでかけましょう」	10	南
4/27	パソコン教室	「初心者の為のパソコン講座。レベル2」	4	南	11/24	フラダンス教室	「ひと足早くホワイトクリスマスを踊りましょう」	6	南
4/27	皮膚科教室	「疥癬について」	1	南	11/26	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	15	南
5/10	フットケア教室	「正しい爪の切り方」	2	南	12/3	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	15	南
5/12	健康料理教室	「楽しくて簡単！ヘルシークッキング」	12	公	12/7	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」超初心者コース	4	南
5/12	フラダンス教室	「ブアマナのステップは基本を大切に軽やかに」	6	南	12/7	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」初心者コース	5	南
5/14	健康料理教室	「楽しくて簡単！ヘルシークッキング」	12	公	12/7	寄せ植え教室	「寄せ植えをしてみよう」	10	南
5/18	パソコン教室	「初心者の為のパソコン講座。レベル1」	4	南	12/8	役立つ介護の工夫	「在宅での食事・嚥下を考える」	1	南
5/25	書道教室	「筆になれよう」	1	南	12/9	フラダンス教室	「ホワイトクリスマスに向けて」	8	南
5/28	パソコン教室	「初心者の為のパソコン講座。レベル2」	4	南	12/10	糖尿病教室	「年末年始の過ごし方」	9	中央
5/31	フラダンス教室	「曲に合わせて一人で踊ってみよう」	5	南	12/10	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	15	南
6/5	糖尿病教室	「フットケア」	12	中央	12/12	高次脳機能障害教室	「高次脳機能障害とは？」	1	南
6/10	フラダンス教室	「新曲 A SONG OF OLD HAWAI」	6	南	12/15	糖尿病教室	「年末年始の過ごし方」	11	中央
6/23	糖尿病教室	「フットケア」	9	中央	12/15	フラダンス教室	「ホワイトクリスマスに向けて」	6	南
6/23	フラダンス教室	「古きハワイを思い浮かべ踊りましょう」	2	南	12/14	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」超初心者コース	4	南
6/27	高次脳機能障害教室	「高次脳機能障害とは？」	3	南	12/14	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」初心者コース	5	南
6/29	パソコン教室	「初心者の為のパソコン講座。レベル1」	4	南	12/17	生活習慣病教室	「肥満」	26	南
7/8	フラダンス教室	「ブア・マナ ～夕涼み会に向けて～」	8	南	1/12	糖尿病教室	「糖尿病の基礎知識」	12	中央
7/14	フラダンス教室	「ブア・マナ ～夕涼み会に向けて～」	8	南	1/21	介護者講習会	「嚥下障害の基礎知識」	1	南
7/16	糖尿病教室	「たまには、薬の世界ものぞいてみよう！」	8	中央	1/25	パソコン教室	「WordとExcelを使ってみよう」初心者コース	4	南
7/20	パソコン教室	「初心者の為のパソコン講座。レベル1」	4	南	1/25	パソコン教室	「パソコンに慣れてみよう」超初心者コース	5	南
7/21	糖尿病教室	「たまには、薬の世界ものぞいてみよう！」	9	中央	1/26	糖尿病教室	「糖尿病の基礎知識」	25	中央
7/22	フラダンス教室	「ブア・マナ ～夕涼み会に向けて～」	8	南	1/26	医療福祉制度講座	「障害を持ってからの家計簿」	3	南
8/4	糖尿病教室	「体力低下を予防する食事」	9	中央	1/28	介護者講習会	「失語症とは」	1	南
8/24	パソコン教室	「インターネットと電子メールを体験してみよう」	3	南	1/28	介助体験教室	「出かけてみよう!!」	8	南
9/2	糖尿病教室	「糖尿病は目に注意!!」	14	中央	2/8	パソコン教室	「WordとExcelを使ってみよう」初心者コース	4	南
9/10	生活習慣病教室	「高脂血症」	22	南	2/8	パソコン教室	「パソコンに慣れてみよう」超初心者コース	5	南
9/12	高次脳機能障害教室	「高次脳機能障害とは？Part1」	5	南	2/9	糖尿病教室	「糖尿病の基礎知識」～Part～	11	中央
9/15	フラダンス教室	「新曲 A SONG OF OLD HAWAI」	8	南	2/9	フラダンス教室	「ラハイナルナ」	8	南
9/16	糖尿病教室	「糖尿病は目に注意!!」	12	中央	2/18	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	11	南
9/26	高次脳機能障害教室	「高次脳機能障害とは？Part2」	2	南	2/22	パソコン教室	「WordとExcelを使ってみよう」初心者コース	4	南
9/28	サプリメント教室	「正しいサプリメントの選び方」	3	南	2/22	パソコン教室	「パソコンに慣れてみよう」超初心者コース	5	南
9/30	フラダンス教室	「新曲 A SONG OF OLD HAWAI」	8	南	2/23	糖尿病教室	「糖尿病の基礎知識」～Part～	27	中央
10/1	介護者講習会	「失語症とは？」	2	南	2/24	フラダンス教室	「ラハイナルナ」	8	南
10/12	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」超初心者コース	4	南	2/24	生活習慣病教室	「高血圧」	10	南
10/12	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」初心者コース	5	南	2/25	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	16	南
10/15	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	6	南	3/4	高次脳機能障害教室	「高次脳機能障害とは？」	1	南
10/18	片手でクッキング教室	「調理補助具の使用法・工夫など」	4	南	3/8	パソコン教室	「WordとExcelを使ってみよう」初心者コース	4	南
10/19	さわやか教室	「家族の失禁、あなたならどうしますか？」	1	南	3/8	パソコン教室	「パソコンに慣れてみよう」超初心者コース	5	南
10/22	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	15	南	3/8	寄せ植え教室	「春を彩る寄せ植え」	15	南
10/22	糖尿病教室	「秋のお食事会」	30	中央	3/11	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	8	南
10/26	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」超初心者コース	4	南	3/18	糖尿病教室	「春のお食事会」	37	南
10/26	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」初心者コース	5	南	3/22	パソコン教室	「WordとExcelを使ってみよう」初心者コース	4	南
11/5	介護者講習会	「失語症のRIL リーゼンとコミュニケーション方法」	2	南	3/22	パソコン教室	「パソコンに慣れてみよう」超初心者コース	5	南
11/5	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	14	南	3/23	役立つ介護の工夫	「在宅での食事・嚥下を考える」～その2～	14	南
11/9	パソコン教室	「年賀状を作ってみよう」超初心者コース	4	南	3/25	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	23	南

南 = 霞ヶ関南病院 中央 = 霞ヶ関中央病院 公 = 霞ヶ関公民館

## Kasumigaseki-Chuo Hospital



## 霞ヶ関中央病院

川越市かすみ野1-1-5 TEL 049-231-5121 FAX049-231-5457

開設	1972年
診療科目	内科・循環器科・消化器科・眼科・放射線科・アレルギー科・リハビリテーション科・リウマチ科・糖尿病専門外来（糖尿教室）・皮膚科
外来受付時間	月～金 午前8：30～午前11：00 午後1：00～午後4：00 土曜日 午前8：30～午前11：00
休診日	日曜日／祝日

## Kasumigaseki-Minami Hospital



## 霞ヶ関南病院

川越市安比奈新田283-1 TEL 049-232-1313 FAX049-233-0981

開設	1987年
診療科目	内科・放射線科・リハビリテーション科
受付時間（すべて予約制となります）	月～金 午前9：30～午前11：00 午後2：00～午後4：00
休診日	土・日曜日／祝日



SKIPトレーニングセンター



デイホスピタル

## Aina Clinic



在宅療養支援診療所

## 安比奈クリニック

川越市安比奈新田258-12 TEL 049-239-3353 FAX 049-239-3354

開設	2003年
診療科目	内科（訪問診療）
受付時間	月～金 午前9：00～正午 午後1：00～午後5：00
休診日	日曜日・祝日・土曜日

## The facilities of Kasumigaseki-Chuo Hospital &amp; Kasumigaseki-Minami Hospital

## 霞ヶ関南病院・霞ヶ関中央病院併設および関連施設

訪問看護ステーション  
スマイル川越市安比奈新田283-1  
（霞ヶ関南病院内）  
TEL 049-233-2525  
FAX049-234-7572開設 1998年  
事業内容 訪問看護

<p>トレーニングセンター <b>SKIP</b></p>	<p>川越市安比奈新田283-1 (霞ヶ関南病院内) TEL 049-232-1313 FAX 049-233-0981</p>	<p>開設 2002年 事業内容 生活習慣病改善 / メタボリックシンドロームの改善 / 介護予防等</p>
<p>ホームヘルパーステーション <b>コール</b></p>	<p>川越市安比奈新田283-1 (霞ヶ関南病院内) TEL 049-232-1313 FAX 049-234-7572</p>	<p>開設 2000年 サービス内容 身体介護 / 家事援助 / 複合介護</p>
<p>川越市地域包括支援センター <b>かすみ</b></p>	<p>川越市安比奈新田283-1 (霞ヶ関南病院内) TEL 049-234-8181 FAX 049-234-8182</p>	<p>開設 2006年 事業内容 介護相談、生活相談等 / 行政機関やサービス事業者との連絡調整 / ケアプラン作成等</p>
<p><b>デイホスピタル</b></p>	<p>川越市安比奈新田283-1 (霞ヶ関南病院内) TEL 049-232-1313 FAX 049-233-0981</p>	<p>開設 1980年 事業内容 通所リハビリテーション</p>
<p>居宅介護支援事業所 <b>霞ヶ関南病院</b></p>	<p>川越市安比奈新田283-1 TEL 049-239-3560 FAX 049-239-3561</p>	<p>開設 2005年 事業内容 居宅介護支援事業</p>
<p><b>デイリビング</b></p>	<p>川越市かすみ野1-1-5 (霞ヶ関中央病院内) TEL 049-231-5121 FAX 049-231-5457</p>	<p>開設 2006年 事業内容 通所リハビリテーション</p>
<p>単独型通所介護 <b>ケアラウンジ南大塚</b></p>	<p>川越市南台2-11-4 南台ハイツ1F TEL 049-238-1188 FAX 049-238-1199</p>	<p>開設 2004年 事業内容 通所介護</p>



かすみ



ケアラウンジ南大塚



デイホスピタル (中庭)

Shinjukai Social Welfare Corporation

姉妹法人 社会福祉法人 真寿会

介護老人福祉施設  
**真寿園**  
(特別養護老人ホーム)

川越市大字安比奈新田292-1  
TEL.049-234-8838  
FAX049-234-8839

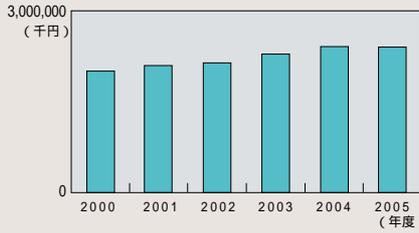
開設 1977年  
関連事業部門  
ショートステイサービス  
デイサービスセンター  
川越市特定高齢者地域支援事業  
託老事業

ホームヘルパーステーション  
在宅介護支援センター  
配食サービス事業  
工房河肥焼真寿窯ほか

# Financial Summary

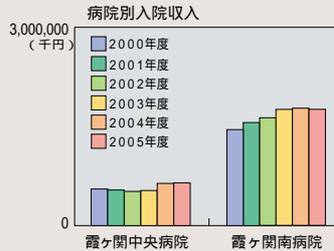
## 主な収入

### 入院収入



年度	増減率
2000	3.1%
2001	6.5%
2002	2.3%
2003	5.1%
2004	5.4%
2005	0.3%

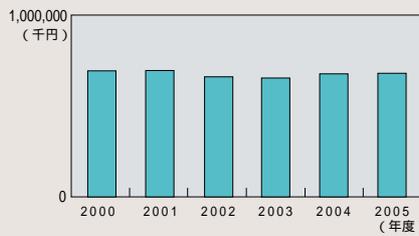
646835 1759604



### 入院患者数

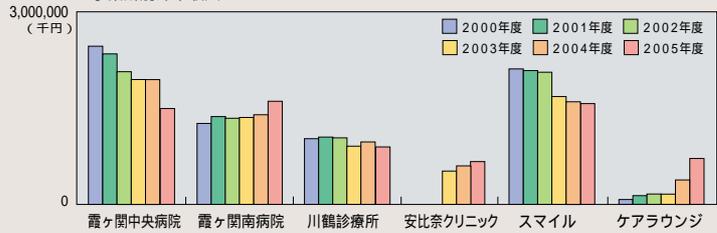
	霧ヶ関中央病院		霧ヶ関南病院	
	1ヵ月平均入院患者数	病床利用率	1ヵ月平均入院患者数	病床利用率
2000年度	77.8人	90.5%	190.2人	95.6%
2001年度	80.5人	93.6%	191.9人	96.4%
2002年度	83.1人	96.6%	196.7人	98.8%
2003年度	80.5人	93.6%	193.3人	97.1%
2004年度	82.9人	96.4%	188.8人	94.9%
2005年度	80.1人	93.2%	190.1人	95.5%

### 外来収入

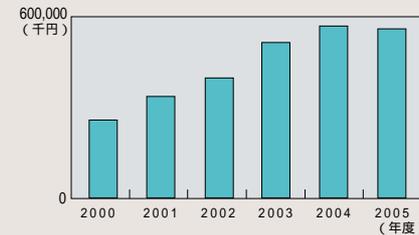


年度	増減率
2000	8.0%
2001	0.5%
2002	4.5%
2003	1.0%
2004	3.5%
2005	0.1%

### 事業所別外来収入

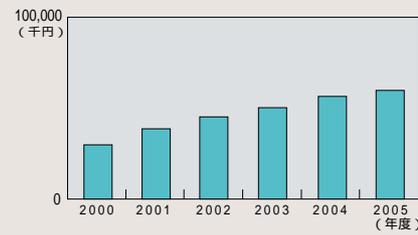


### リハビリ収入



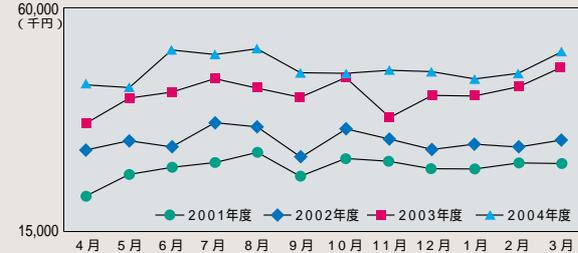
年度	増減率
2000	-
2001	0.5%
2002	18.4%
2003	29.0%
2004	10.6%
2005	2.4%

### 健康診断収入

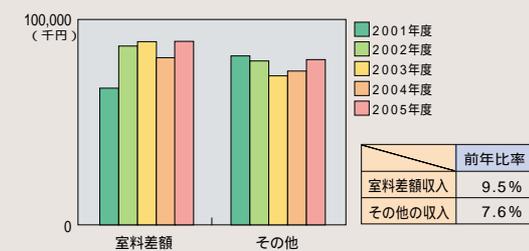


年度	増減率
2000	-
2001	29.0%
2002	17.4%
2003	11.2%
2004	12.1%
2005	6.0%

### 月次別リハビリ収入

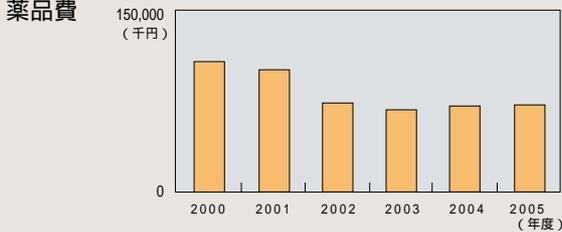


### 室料差額収入・その他収入



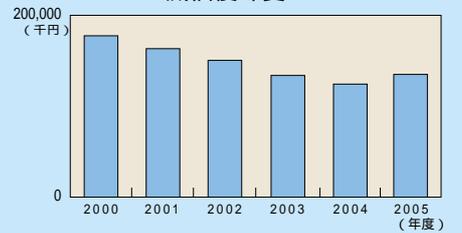
## 主な支出

### 薬品費

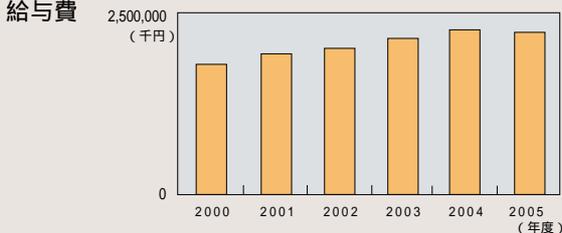


年度	増減率
2000	-
2001	10.9%
2002	27.2%
2003	7.7%
2004	3.9%
2005	2.0%

### 減価償却費

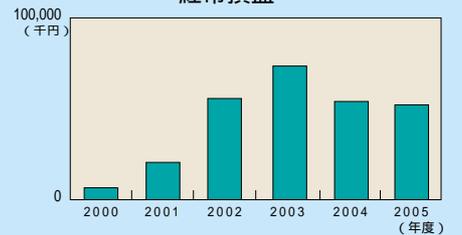


### 給与費



年度	増減率
2000	-
2001	7.9%
2002	3.9%
2003	6.8%
2004	5.5%
2005	1.5%

### 経常損益



## 2005年度 医療法人真正会 行事報告

4月	1・2日	新人研修
	17～24日	オーストラリア研修
	23日	ふれあい祭り（川鶴診療所）
5月	22日	バイキング（中央病院）
	28日	バイキング（南病院）
6月	4日	バイキング（南病院）
	25日	第2回健康フェア
7月	2・3日	全国老人デイ・ケア連絡協議会 全国研究大会2005川越
	9日	埼玉県療養病床研究会 総会・総合研究会
	21日	夕涼み花火大会（中央病院）
	27・28日	夕涼み花火大会（南病院）
8月	28～9月4日	オーストラリア研修（全国デイ・ケア）
9月	19日	敬老を共に祝う会（南・中央病院）
10月	4・5日	新人研修
	28・29日	リハビリテーション・ケア合同研究大会2005大阪
11月	12日	地域感謝祭（ふれあい広場）
	17～18日	日本療養病床協会 全国研究大会東京
	26～12月4日	オーストラリア研修
12月	17日	通所リハビリテーションデイホスピタル25周年記念パーティ
	29日	真正会忘年会
1月	1日	新年 お屠蘇
	8日	餅喰う会（中央病院）
	14日	餅喰う会（南病院）
2月	3～5日	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 全国研究大会2006高知





真正会  
Shinseikai

rehabilitation & community care

**Annual Report**

2005~2006

**DATA FILE**